



さんネット通信

第10号
2022 秋冬



中核地域生活支援センター大会 in 2022

今年の中核センター大会のテーマは「地域共生社会の推進と重層的支援体制の構築について～つながり続けることの意味と重要性～」と題し、8月30日厚生労働省地域共生社会推進室の米田隆史室長をお招きし開催いたしました。

地域共生社会とはどういった社会なのか、その中で新しく始まった重層的支援体制整備では何を行い、何を指すのかなどこれまで現場で体験した全国の事例など交えご講演いただきました。

近頃私は、福祉業界だけで、様々な福祉的支援の事業や地域づくりを行っていても、それは社会構造全体からみればほんの一握りであることに懸念を感じています。「井の中の蛙、大海を知らず」ではありませんが、大きな海（様々な業界・産業・地域）で福祉や地域共生社会推進の取り組みを行っていかねば真に住みやすい地域にはならないと想っていただけに、米田さんの地域づくりとネットワークのお話は胸にスッと入ってきて深く共感しました。

これから当センターとしては、人口減少・高齢化の進行が著しい九十九里沿岸地域において何が求められているのか、何ができるのかをしっかりと考えながら今後も様々な活動に努めていかねばいけないと思わされた、身が引き締まる大会となりました。



【米田 隆史室長】

〔センター長 吉井 稔〕



会場・オンライン 約 350 名のご参加をいただきました。

【米田室長が体験したひとつ】
何から始めたらいいかわからない場合。
まず頭に思い浮かぶ一人に向きあって、その人と楽しくつながることができる場づくりに取り組むことから始めてはどうかと奄美大島宇検村の島人から言葉がけいただいたそうです。



中核 4 センター合同勉強会

7月29日に、中核地域生活支援センターがしゅまるの朝比奈センター長をお迎えし、「地域共生社会の推進」及び「重層的支援体制整備」を基本から学ぶ勉強会を千葉県北総地域（山武・海匝・香取・印旛圏域）合同で開催しました。

隣の市町、隣の圏域がどんな地域づくりを行っているかを知るきっかけとして、来年度も開催したいと考えています。



【朝比奈 ミカ氏】





山武圏域連絡調整会議

● 包括支援部会 ●

11月4日「8050問題とひきこもり支援」をテーマに市民公開講座と個別相談会を実施しました。現代の生活課題及び地域課題は一つの困り事だけではなく、本人を取り巻く地域や家庭など様々な要素や課題が複合的に重なり合っていることが少なくありません。今後も包括支援部会では、ひきこもりの状態にある人の現状などを様々な視点から学び、理解し合えることを目的に研修会等を開催する予定です。



【稲生 英俊氏】

講演：「精神医学からみた8050問題」

稲生 英俊氏（医師・千葉市こころに健康センター所長）

講演：「氷河期世代の就労支援とひきこもり」

鈴木 由美氏（NPO法人ユニバーサル就労ネットワークちば 事務局長）

報告：「ひきこもり支援における介入ポイントと初期対応」

平田 智子氏（NPO法人ユニバーサル就労ネットワークちば 副理事長）



【平田 智子氏】



【鈴木 由美氏】

● 高齢者部会 ●

近年、様々なメディアで取り上げられている職場でのハラスメントについて取り上げ、公益財団法人介護労働安定センター千葉支部の主催で、雇用管理責任者講習を開催します。まだ定員まで余裕がありますのでご希望の方はさんネットまでご相談ください。これからも、地域の課題、生活の課題の改善に向けて関係者の皆様と取り組んでいきたいと考えていますので、ご協力をお願いいたします。

日時 令和4年11月17日(木) 13:00~17:00 ハイブリット方式（参集型+オンライン）

場所 医療法人清和会浅井病院会議室（東金市家徳 38-1）又はオンライン

テーマ 「職場のハラスメント対策を考える」＊雇用管理者責任者講習専門コース

講師 藤野 和良氏（特定社会保険労務士・藤野経営労務管理事務所 副所長）

定員 60名（会場 40名・オンライン 20名）（先着順・無料）

※受講終了後受講証明書が発行されます。交付については「4時間の受講」が条件となります。

● 着任のごあいさつ ●

【小高 美保】と申します。これまで児童福祉、婦人保護事業関係の職場で、相談支援に携わってきました。これまでの経験を生かしつつ、中核センター業務を通して、地域福祉に貢献できるよう努めてまいります。よろしくお願いいたします。

【泉 洋治】と申します。高齢者福祉から総合相談という広い分野の対応をすることになり、覚えなくてはいけないことがたくさんあります。分からないことは、職場の仲間に助けていただきながら60の手習いで頑張っています。これからもよろしくお願いいたします。



発行元：中核地域生活支援センターさんネット【千葉県委託事業】

〒289-1345 千葉県山武市津辺 171-1

電話 0475-77-7531

FAX 0475-77-7538

E-mail sun.net@npo-link.jp

ホームページ <https://npo-link.jp/>

編集担当：佐藤 発行責任者：吉井

東金

●おひさまの家

9月。日本財団の助成を受け、子ども第三の居場所「おひさまの家」を開設しました。おひさま文庫の事業、「絵本の貸し出し」「学童保育」「イベント開催」「一時避難場所の提供」等と連携し、誰も「ひとりぼっちにしない」子ども達を中心に大人たちも繋がった地域子育てコミュニティの場をつくり、子ども達が将来の自立に向け生き抜く力を育むための「絵本」「アート」「豊かな自然」環境に囲まれた居場所づくりを目指しています。

（おひさまの家 鈴木氏 <http://www.311bunko.com/>）



【おひさまの家】

山武

●さんむわくわく館

自分を発見できる場所。一日の生活を自ら創造し、自分のペースで生き生きと過ごせる「場所」と「時間」を提供します。建物内には、学習室や相談室、キッチン

を備えた交流室やメディアルームなどがあり、PCや電子黒板、VRゴーグル、卓球台などがそろっています。



【学習室】

【さんむわくわく館】



利用対象：0歳～18歳までの子どもとその保護者
（未就学児は保護者同伴）

開館日時：月・水・木曜日 午前9時～午後7時
（長期休業期間は休館）利用料：無料

問合せ：さんむわくわく館 TEL 0475-53-5976
（山武市成東 2553-1）



【キッチン】

高校

●校内居場所づくり事業

今年度より「県立東金高校定時制」を対象として、気軽に相談できる居場所作りに取り組んでいます。時には、ゲームをしたり文化祭などの学校行事と一緒に開催する等、様々な活動を共に行うことで、生徒の皆さんと関わる時間と機会を設けています。（問合せ：中核地域生活支援センターさんネット TEL 0475-77-7531）

芝山

●子育て支援センター 『はぐーん』

【さまざまなことができる憩いの場所】

親子で安心して楽しめる 屋根のある公園のような場所

6月。子育て支援センターが開設いたしました「子育てについて相談する相手がほしい」「同年代の子どもと一緒に遊ばせたい」などの願いを持つ親子のための場所です。親子で遊んだり、お友達とお話することはもちろん、妊娠中の方やお孫さんと一緒にならおじいちゃん、おばあちゃんもご利用いただけます。

【この場所で過ごす親子にとって大切な時間】

さまざまな遊びや講座などを通じて、幼児期における基礎体力や発想力、想像力が育成されることで、子どもたちにとって健やかな成長と学びの場となります。



はぐーんの庭



インタラクティブコンテンツ



子育て支援室

さらに、子育て世代の保護者にとっても、支援員や保護者同士の交流の中で、子育てに関する悩みや日々の疲れを解消できる場としてもご利用いただけます。

ホッとステーション展開中

6月から山武圏域各所に誰もが利用できる居場所「ホッとステーション」が展開されています。各個人の生活圏域で誰もがひととき休息できる場所。それがみんなの心のよりどころ「ホッとステーション」です。

特別な目的なくとも『居ていい』空間。ストレスある場から離れ気分転換してもよし。自室だけが生活空間になっており違う光景や音を感じるために来てもよし。少し他人に話してみることもよし。誰でも気兼ねなくご利用いただける休息場所です。また、各ステーションには困りごとを受け止め、関係機関に連携をとっていく重層的支援機能も備えており、各機関・団体・店舗とネットワークを構築中です。



【ステッカー】



現在ある各種相談窓口とは違った生活問題の把握と受け止め。その周りに幾重にもつながっている機関や団体等。山武圏域に誕生した新しい地域連携の形。ご利用の案内と地域の皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

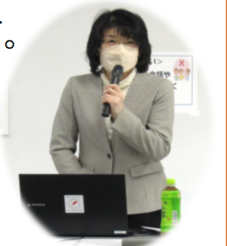


※目印はステッカーやベンチ、のぼり旗です。詳しくは、事務局：特定非営利活動法人リンクまで TEL0475-77-7531

ゲートキーパー養成講座

「ゲートキーパー」とは、自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応（悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る）を図ることができる人のことで、言えば「命の門番とも位置付けられる人のことです。」

10月27日(木)、第1日目として講師に吉野 比呂子氏(昭和女子大学非常勤講師・精神保健福祉士)をお迎えし「近年の自殺統計より考える横芝光町の自殺対策と支援者の役割を考える」をテーマにご講演いただきました。私たちの大切な人を支えるために、受講してみませんか？



【吉野 比呂子氏】

今後の予定

- ・2日目(2022年11月21日(月))14時~15時30分

「自殺対策で活用できる社会資源を知る」

講師：赤堀 久里子(中核地域生活支援センターさんネット・精神保健福祉士)

- ・3日目(2022年11月29日(火))14時~15時30分

「若者・青少年の自殺を考える」

講師：石川 真紀(千葉県精神保健福祉センター医師)

会場：横芝光町健康づくりセンター「プラム」横芝光町横芝栗山 1076

横芝光町ゲートキーパー養成講座事務局

(中核地域生活支援センターさんネット 0475-77-7531)